

2. 地域の福祉活動を支援します。

学区・地区社会福祉協議会の活動支援

(予算額：6,012千円)

鶴岡福祉センター

住民参加による地域福祉活動の基盤となる学区・地区社会福祉協議会等に活動助成金を交付します。
また、21学区・地区社会福祉協議会等の代表者により構成されている学区・地区社協連絡委員会と連携して各種情報交換会・研修会等を開催します。

【平成31（令和元）年度助成金交付実績】

(単位：円)

No.	学区・地区社協名	助成金額	No.	学区・地区社協名	助成金額
1	第一学区社会福祉協議会	320,000	8	斎地区社会福祉協議会	260,000
2	第二学区社会福祉協議会		9	黄金地区社会福祉協議会	
3	第三学区社会福祉協議会		10	湯田川地区社会福祉協議会	
4	第四学区社会福祉協議会		11	大泉地区社会福祉協議会	
5	第五学区社会福祉協議会		12	京田地区社会福祉協議会	
6	第六学区コミュニティネットワーク		13	栄地区社会福祉協議会	
7	大山社会福祉協議会		14	田川地区社会福祉協議会	
			15	上郷地区社会福祉協議会	
			16	三瀬地区福祉のまちづくり協議会	
			17	由良社会福祉協議会	
			18	小堅地区社会福祉協議会	
			19	加茂地区社会福祉協議会	
			20	湯野浜地区社会福祉協議会	
			21	西郷地区社会福祉協議会	

【平成31（令和元）年度情報交換会・研修会開催状況】

会の種別	開催回数(回)	延べ参加者数(人)
学区・地区社協役員・コーディネーター等研修会 (学区・地区社協代表者情報交換会と合同開催)	2	92

おだがいさまのまちづくり

誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けていくために、小地域における支え合い・見守り等の福祉活動や、地域課題の「発見と対応」の仕組みづくりを支援し、住民主体の地域福祉活動の発展強化を図ります。

(予算額：10,590千円)
各福祉センター

おだがいさまのまちづくり事業①

住民福祉活動への支援（鶴岡地域）

学区・地区社協等が取り組む、住民自らが地域で支え合う「おだがいさまのまちづくり」の推進を目指し、住民主体による見守り・支え合い活動、福祉教育、サロン活動等を支援し、地域福祉活動の充実を図ります。

○おだがいさまのまちづくり事業助成金

学区・地区社協等が新たに取り組む、住民主体による見守りのネットワーク構築や生活支援サービス、福祉教育の推進、ふくし座談会等の福祉活動へ助成金を交付し支援します。

(実施主体) 概ね小学校区単位に組織化された学区・地区社会福祉協議会、地域福祉推進基礎組織。

○お茶のみサロン活動助成金

地域における閉じこもりや孤立の防止を目的とした見守り活動の充実を図るため、地域住民自らが行うお茶のみサロンを地域福祉活動と位置づけ、運営費の一部を助成し支援します。

(実施主体) 概ね町内会、自治会等の一定の区域を単位としたサロン活動団体。

【助成内容】

助成事業	活動項目	助成金額	
おだがいさまのまちづくり事業助成金	見守りネット活動	100,000円以内 (活動に対する助成期間3年)	
	支え合いネット活動		
	福祉教育・学習活動		
	その他の福祉活動		
	ふくし座談会	1回10,000円 (限度額100,000円)	
お茶のみサロン活動助成金	サロン活動	申請初年度	10,000円
		年12回以上開催	10,000円
		年6回以上12回未満開催	5,000円

【平成 31（令和元）年度実施状況及び助成金交付実績】

○地域福祉活動推進支援助成金交付要綱(旧要綱)助成事業

(単位：円)

No.	団 体 名	活 動 名	助成金額
1	第二学区社会福祉協議会	認知症・介護者支援事業	100,000
2	第三学区社会福祉協議会	第三学区おだがいさま支え合いネット活動	100,000
3	第四学区社会福祉協議会	第四学区地域見守り体制構築事業 「四学区日常生活見守りネットワーク」	100,000
4	第五学区社会福祉協議会	福祉安心見守りカードの普及活動事業	30,000
5	第六学区コミュニティネット ワーク	高齢者ケア及び地域支え合い仕組みづくり	100,000
6	栄地区社会福祉協議会	栄地区「おらほのかるた」作成事業	100,000
7	黄金地区社会福祉協議会	生き心地の良い地域づくり	60,000

平成 31（令和元）年度ふくし座談会実施状況	29 件
平成 31（令和元）年度お茶のみサロン活動助成金交付件数	110 件

住民福祉活動への支援

(藤島地域・羽黒地域・櫛引地域・朝日地域・温海地域)

町内会・集落等の自治組織、または、住民団体等を単位とした「住民主体」による地域福祉活動の充実を図るため、住民自らが地域の福祉課題に気づき、お互いに支え合えるような地域の構築を目指し支援します。

(実施主体)

地域福祉活動の充実に取り組もうとする学区・地区社協、町内会・集落等及び福祉団体等

(事業内容)

(1) サロン活動

高齢者や若者等の閉じこもり防止、子育て家庭や世代間等の交流、障がい者やその家族等の交流及び地域住民が集うためのサロン活動

(2) ボランティア活動

地域や個人の生活上のニーズに対応するボランティア活動の立ち上げや、地域住民が暮らしやすいまちづくり等のために行うボランティア活動

(3) 住民福祉座談会・地域福祉連絡会議

地域課題や地域ニーズ等について話し合う住民座談会、住民の支え合いを考えるための住民福祉座談会・地域福祉連絡会議の開催

(4) 人材育成

地域リーダーの育成や地域福祉活動を推進する人材・組織づくり

(5) 福祉研修・講座

地域福祉や健康づくり等に関する研修や講座等の開催

(6) その他、目的達成のための先駆的な地域福祉活動

先駆的な地域福祉活動や地域福祉型サービス等の開発・企画・運営を目的とした活動等

【助成内容】

	助成金額	実施要件
サロン活動	10,000 円以内	年 5 回以上開催
ボランティア活動	10,000 円以内	年 2 回以上開催
住民福祉座談会等	20,000 円以内	年 1 回以上開催
人材育成	20,000 円以内	年 1 回以上開催
福祉研修・講座	30,000 円以内	年 1 回以上開催
地域福祉サービス等	35,000 円以内	新規事業実施の初年度 1 回

【平成 31（令和元）年度の実施状況】

	サロン 活動	住民福祉 座談会等	ボランテ ィア活動	人材育成	福祉研修 ・講座	地域福祉 サービス等
藤島福祉センター	25ヶ所	1ヶ所	—	—	2ヶ所	—
羽黒福祉センター	4ヶ所	1ヶ所	—	1カ所	4ヶ所	1カ所
櫛引福祉センター	6ヶ所	—	1ヶ所	—	1ヶ所	1カ所
朝日福祉センター	10ヶ所	1カ所	—	—	2カ所	1カ所
温海福祉センター	1ヶ所	4ヶ所	—	—	—	—

おだがいさまのまちづくり事業③

おだがいさまネット活動の推進

地域内の地域福祉推進組織や、関係団体、協力事業所等と見守りの取組について共通認識を図るネットワークの構築や、日常生活で困りごとを抱えている人への生活支援への取組として「おだがいさまネット活動」を推進し、また、ひとり暮らし高齢者等の緊急時に備える安心カード等の設置を推進します。

【平成 31（令和元）年度の実施状況】

	事業内容
鶴岡福祉センター	<p>①おだがいさまネット活動推進事業</p> <p>「見守りネット活動」：見守りのネットワークを構築し啓発活動に取り組むことで、住民の方々の意識と共に地域力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の特性を踏まえ、地域ケアネットワーク会議等で日頃の見守りの必要性や地域でできる見守りなどについての話し合いを実施。 <p>「支え合いネット活動」：日常生活で困りごとを抱えている方に対して、課題解決のための生活支援の仕組みをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三学区おだがいさま支え合いネット 27年度～ 第三学区 <p>②安心カード設置活動</p> <p>学区・地区社協等が実施主体となり 21 地区 4,726 世帯に設置、うち 19 地区 4,175 世帯分の設置者名簿を消防本部に提出。また、駆け付けた救急隊員の、より迅速な対応の補助的機能を目的とした「安心カードステッカー」設置のため、希望する学区・地区社協へ配布。</p>
藤島福祉センター	<p>①ふじしま安心カードの設置：設置数 178 世帯</p> <p>町内会、民生委員・児童委員及び地域包括支援センターふじしまの協力により実施。</p>
羽黒福祉センター	<p>①緊急連絡カードの設置：設置数 402 世帯</p> <p>593 人（一人暮らし高齢者、高齢者世帯等）民生委員・児童委員の協力により実施。</p>
櫛引福祉センター	<p>①支え合いネット活動：地区の中で困りごとを抱えている方に、地区の支え合いの組織が支援を行い、各地区への設置を目指す。</p> <p>平成 31（令和元）年度まで 6 地区が組織化を行う。</p> <p>②安心カードの設置数：世帯数 653 世帯 1,011 人 （櫛引庁舎が実施主体）</p> <p>令和 2 年度は実施主体が櫛引福祉センターに変更予定。</p>

朝日福祉センター	<p>①近所の支え合い 朝日あんしん見守り事業 上名川自治会：対象者 6 人、見守り隊：2 人 訪問活動 121 回</p> <p>②黄色い旗運動 上田沢自治会：56 世帯（全世帯）</p> <p>③安心カードの設置：設置数 276 世帯 441 人 自治会、民生委員・児童委員、地域包括支援センターあさひの協力により実施。</p>
温海福祉センター	<p>①福祉連絡カードの設置</p> <p>一人暮らし高齢者 427 世帯、二人暮らし高齢者 380 世帯、高齢者のみ世帯 61 世帯、高齢者以外(障がい者等)3 世帯</p>

おだがいさまのまちづくり事業④

人にやさしいまちづくり

高齢者や障がい者、子育て家庭などが、地域の中で安心して暮らすことができる環境づくりや、生活支援のために社協独自の福祉サービスを提供します。

＜主な取組＞ ※各福祉センターにより実施内容が異なります

チャイルドシート貸出し、子育てサポーター研修、青色駐車場整備、こころの健康づくり出前講座

【平成 31（令和元）年度の取組】

	実施内容	実績等
藤島福祉センター	チャイルドシート貸出し（16 台整備）	32 件
	輪投げ等遊具貸出し（6 セット整備）	27 件
	擬似体験セット貸出し（3 セット整備）	0 件
	車イス貸出し（1 台整備）	6 件
羽黒福祉センター	障がい者用駐車場（青色駐車場）の整備	2 ヶ所
	チャイルドシート貸出し（49 台整備）	21 件
	車イス貸出し（3 台整備）	7 件
	こころの健康づくり講演会の開催	58 人参加
	こころの健康づくり出前講座	2 回
櫛引福祉センター	チャイルドシート貸出し（106 台整備）	235 件
	車イス貸出し（10 台整備）	34 件
	子育てサポーター研修・活動	8 回
	遊具の貸出し・その他	15 件
朝日福祉センター	愛のふれあいコンサートの開催・知的障がい者理解啓発講演等	200 人参加
	チャイルドシート貸出し（15 台整備）	12 件
	「聞こえませんカード」作成・周知	事業所 21 ヶ所
	疑似体験セット・輪投げ等の遊具の貸出し	12 件
温海福祉センター	チャイルドシート・ジュニアシート貸出し（11 台整備）	30 件
	車イス貸出し（4 台整備）	35 件
	バラ園入口スロープ整備・移動介助	延べ 38 人

地域福祉の担い手の発掘・養成

小地域での見守り・支え合い活動を充実していくために、中学校区・小学校区エリアにおける地域福祉の役割を担う人材の発掘・養成を行う事業として、自治振興会等の各種団体や鶴岡市と連携し研修会を開催します。

【平成 31（令和元）年度の実施】

研修名	主な内容	実績等
地域福祉リーダー養成研修	実施地域：鶴岡地域 内 容：講演・情報交換会 テ ー マ：①地域共生社会に向けて ～住民の地域づくりの支援について考える ②住民の地域づくり支援のためのボランティアコーディネート グループワーク 講師：東北公益文科大学 教授 武田真理子氏	33人参加
地域ささえ愛研修会	実施地域：櫛引地域 内 容：講演・情報交換会 テ ー マ：「人とひとをつなぐ地域づくり」 ①地域支え合い活動の報告 ②パネルディスカッション	47人参加

おだがいさまのまちづくり事業⑥

福祉関係団体等への助成

福祉団体や当事者組織の活動を支えるために助成金を交付します。

主な助成団体：各地域老人クラブ連合会・身体障害者福祉協会・手をつなぐ育成会・民生児童委員協議会、鶴岡市母子会、鶴岡市婦人会連合会、鶴岡田川地区保護司会、鶴岡市民間保育園協議会

【福祉団体等への活動助成の状況】

	30 年度		31 (R1) 年度	
	団体数	助成金額 (円)	団体数	助成金額 (円)
鶴岡福祉センター	11	703,000	11	653,000
藤島福祉センター	9	365,000	9	365,000
羽黒福祉センター	5	240,000	5	240,000
櫛引福祉センター	3	103,000	4	118,000
朝日福祉センター	4	278,000	4	278,000
温海福祉センター	5	355,000	5	365,000

おだがいさまのまちづくり事業⑦

会食・配食を通じた仲間づくり

ひとり暮らし高齢者の閉じこもり防止や地域社会への参加を進めるために、地域または地区を単位とした会食交流会・配食サービスを実施します。

【平成 31 (令和元) 年度実施状況】

	鶴岡福祉 センター	温海福祉 センター (あったか弁当)
実施回数	169	11
参加人数	4,676	1,892

その他の地域福祉事業

(予算額：1,999千円)

地域福祉課・各福祉センター

住民の福祉に対する意識高揚を図るため、各種福祉研修会や社協事業を紹介する「福祉のつどい」を行い、また、地域公益活動の促進に向けた研究や市内法人との協働体制づくりに取り組み、地域福祉の推進を図ります。さらに、数え年で100歳以上の長寿者をお祝いし励みとすることを目的に、敬老の日に合わせ、鶴岡市と連携し「鶴亀番付」(相撲の番付風に長寿者を記載)を発行します。

【平成31(令和元)年度実施状況】

	内容等
福祉のつどい	令和元年10月10日(木) 於 鶴岡市中央公民館 演 題：「社会的孤立を防ぐ～支え・支えられる おだがいさまのまちづくりを目指して～」 講 師：社会福祉法人藤里町社会福祉協議会 会長 菊池 まゆみ 氏 参加者：333人
鶴亀番付の発行	発行部数：1,410部 配布先：該当者、敬老のつどい参加者、公民館、 学区地区社協、福祉センター、高齢者福祉施設等
社会福祉法人連携による公益的な取組に係る研修会及び懇談会	<第1回連絡会> 令和元年7月23日(火) 於 にご♥ふる 社会福祉法人による公益的な取組を行うにあたり、法人の取組み状況・地域課題を確認し、さらなる公益的な取組みへの事業展開の方法や仕組みづくりなど基本的な知識と認識を深めた。 参加者：17人
	<情報交換会> 令和元年12月5日(木) 於 にご♥ふる 障がい福祉サービス事業を実施している社会福祉法人が、公益的取組みの責務について共通理解及び各法人の公益的取組み活動の情報交換をした。 参加者：30人
	<第2回連絡会> 令和2年1月23日(木) 於 にご♥ふる 障がい福祉サービス事業所の情報交換会報告や情報発信及び各事業所の活動状況報告を行った。 参加者：24人

福祉バスの運行（市委託）

（予算額：6,684 千円）

総務課・藤島福祉センター

福祉バスは、社会福祉に関する活動、研修等、社会福祉を目的とする事業を行うときに鶴岡市が提供するマイクロバスを運行することにより、市民の福祉活動の利便を図り、もって地域福祉の増進を図ることを目的としています。

利用対象者：鶴岡地区／合併前の鶴岡市の区域に住所を有し活動を行う団体

藤島地区／合併前の藤島町の区域に住所を有し活動を行う団体

運行台数：鶴岡地区／2 台（定員各 28 人）、藤島地区／1 台（定員 23 人）

利用時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時まで

利用料金：無料（ただし、有料高速道路等通行料、駐車場料金等は利用者が負担）

申込み：鶴岡地区／利用予定日の 3 ヶ月前から 1 ヶ月前までに「福祉バス利用申込書」を総務課へ提出 ※利用団体が多数のため年に 2 回抽選会を行っています。

藤島地区／利用予定日の 3 ヶ月前から 10 日前までに「福祉バス利用申込書」を藤島福祉センターへ提出

【運行状況】

	年度	運行日数	運行回数	利用目的別運行回数内訳						延べ利用人数
				研修会	各種大会	福祉事業	視察研修	ボランティア活動	その他	
鶴岡	29	414	414	23	21	270	70	4	26	7,744
	30	397	397	17	20	266	61	5	28	7,200
	31 (R1)	228	378	8	25	248	62	3	32	6,423
藤島	29	75	75	4	9	50	11	-	1	1,001
	30	47	47	5	11	18	13	-	-	692
	31 (R1)	61	62	7	7	39	2	5	2	979

※鶴岡地区の運行日数について、平成 30 年度までは運行回数と同数にしたものの平成 31（令和元）年度からは、実際に運行した日数とした。

地域福祉センターなえづの施設開放

地域福祉センターなえづ

地域の皆様の研修や福祉活動の拠点としてご利用いただけるように施設内の研修室を開放しています。

利用対象：福祉のために活動する方・団体

利用時間：午前 8 時 30 分～午後 9 時まで

利用料金：無料

申込み：地域福祉センターなえづ　ほなみ町 3-1　TEL：25-9255

【年間利用状況】

	第 1・第 2 研修室	
	回 数 (回)	人 数 (人)
27 年度	113	1,301
28 年度	151	1,781
29 年度	147	1,789
30 年度	152	1,919
31 (R1) 年度	142	1,782